

用災害、疾病、および失業の各保険制度の改善に、努力が続けられている。

包括的な改革への途を開くために、最近多数の対策が採用されたが、これらの改革は、現在幅広く分散されている制度を、統合することになるであろう。これらの対策は、(1) 管理上の面からグループ分けすること、(2) 拠出数の減少、(3) 給付を定期的に確実に支払う定期的支払い、(4) 拠出徴収のより大きな効率、(5) 業務簡素化への管理手段を含んでいる。

ある特殊な地域の開発と関連を有する社会保障の機能については、検討が加えられなければならない。たとえば、それらの検討には、人口構造、教育水準、住宅施設、就業率、その地方の経済などが含まれる。これらの要素について知ることができるならば、所得を喪失した市民達に対する給付、あるいは疾病、災害、出産、廃疾、老齢、稼得活動者の死亡、失業または家族の扶養に対する支出の補償として支給される給付が、実現されな

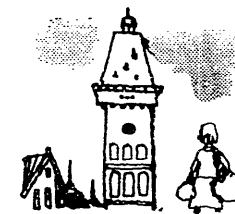
ければならない。さらにそれ以外のニードは、予防的および治療的医療を通じて、またリハビリテーション施設によって、基本的な健康水準を護る保護を含んでいる。たとえば、それらのニードには、家族手当および社会的給付の改善が含まれ、なお、特殊な所定の地域には、特殊な優先順位が与えられる。外国人の労働者の場合には、保護はこの国の市民である労働者と外国人労働者に対して、平等な権利を設け、かつ他の国における雇用

期間を認める年金権にかんする相互協約を含んでおり、その相互協約によって、当人の環境に各人の立場を組み込ませることになるであろう。

Social Security and Development, *Revista de Seguridad Social*, (Buenos Aires), No. 6, December 1968, pp. 517~527; No. 76, '69.

将来の社会保障制度 の考え方と助言

Wilhelm Frey (西ドイツ)



本稿に示された助言は、ドイツの社会的保護が、管理部門をより単純化し、またより明白とする方向を求めており、それに対する法律の実質的な修正と組織の改革の手段が含ま

れている。

現在存在している多数の保険者とともに、ドイツの社会保障制度がもつ仕組みは、さら

に、次のような特徴をもっている。すなわち、機能にみられる多くの重複、リスクの分裂と組合せ、資格を区別する困難、および各保険者によって定められた給付についての明確さの欠如は、この国の社会保障制度がもつ特色である。これらの特徴は、高い管理・運営費と、当惑するほど複雑な制度の多様性に直面して、被保険者達を感じさせられる混乱という2つの結果を招いている。歴史的発展を経て形成されたこの仕組みの完全な点検は、その問題から生じている。改革への検討は、リスク、保護対象の範囲、財源調達資金、および組織の改革について、現行制度にもとづいて行なわれなければならない。

どのカテゴリーの人びとが、保護対策とされた制度に含まれるべきかということについて、問題が検討されなければならない。疑いもなく、全市民に対する基本的な社会保険の保護が必要である。その理由は、安定した価値を維持するという通貨の概念が、老齢保護のような長期的計画化により、強い打撃をうけてきたからである。通貨の平価切下げと技

術革新もまた、ダイナミックな基本原則を全面的に適用する必要性を指摘している。初期の時期、また、まだ立法者により、十分に検討されもしない当時以来、自主的な社会保障制度は、それらの役割に対して、より正確に対応し、より適切かつスピーディな決定を下すものと期待されるので、社会保障制度の自主的管理を、強化する必要がある。機構的な部分では、諸給付の相互依存の観点から、また、今日コンピューターを用いてのみ達成できる合理的な管理のために、各種の制度を1本にまとめる統合が絶対に必要要素である。

多数の各リスク・グループの完全な統合にもかかわらず、コンピューターの使用も、それら各リスク・グループのもつそれぞれの経済的および財政的独立を維持することが可能である。換言すれば、ある特殊な地域をカバーするある単一の管理機関のもとで、現行制度をひき継ぐ制度は、財政的自主性、自主的な管理、および重要な部分における決定と組織の自由を併せて、法律的に保証された独立を維持することができるであろう。電子的情

報処理方式は、管理業務を同時に行ない、しかも、財政的にまた経済的に独立して再分された部分に応じて、会計上の機能と統計的な機能を配分するのも可能とするであろう。要素を統合する仕組みは、共同のデータ銀行とデータ処理センターで構成されるが、しかし、リスクの各部門は、現在行なわれている方式をそのまま続けられるか、あるいはより以上に混然と組合された形を、続けることさえありうるであろう。

Ideas and Suggestions for A Future Social Security System, "Thesen und Anregungen zu einem künftigen System sozialer Sicherung", *Die Sozialversicherung*, No. 12, 1968, pp. 353~357; No. 82, '69.